

平成 25 年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(平成 24 年度事業対象)



ライフジャケットを装着しての避難訓練 (八島小学校)

平成 25 年 11 月  
石垣市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、平成 24 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



教育委員による学校訪問 (吉原小学校)

# 目 次

はじめに	1
【参考】平成 24 年度 石垣市教育委員会主要施策体系	2
<b>I 教育委員会の活動</b>	
教育委員会の会議等の状況	3
《資料》	
(1) 教育委員会の活動状況一覧表	4
(2) 教育委員会会議開催状況一覧表	5
<b>II 教育事務点検評価</b>	
平成 25 年度教育事務（24 年度事業）点検評価の結果一覧表	8
石垣島天文台運営事務費	9
石垣市立八重山博物館外壁改修事業（沖振交）	10
学校図書館充実事業（光をそそぐ交付金）	11
学齢児就学対策費	12
学校給食費助成金（児童援助費）	13
適応指導教室費	14
学校評議員費	15
冠鷲プロジェクト（学力向上推進事業）	16
ICT教育強化事業（学力向上）（沖振交）	17
すこやか子育て支援事業（沖振交）	18
運営委員会費	19
外国語学習支援事業（沖振交）	20
石垣市子ども見守り隊事業	21
「ユースアドバイザー」事業（沖振交）	22
石垣市生涯学習フェスティバル	23
冠鷲プロジェクト（地域・家庭教育支援事業）	24
図書館充実費	25
地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システム構築導入事業（沖振交）	26
文化財保護啓発費	27
史跡土地買上事業	28
文化財ガイドマップ作成事業（沖振交）	29
旧大浜町史（仮称）編集事業	30
いしがきの原風景写真等デジタル化事業（沖振交）	31
八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業（沖振交）	32
喜舎場家所有資料等収集事業	33
児童・生徒選手派遣費補助事業（沖振交）	34
災害に備えた学校環境整備事業（沖振交）	35
平真小学校水泳プール新築事業	36
<b>III 外部評価委員による総評</b>	37
○石垣市教育事務点検評価実施要綱	40
○平成 25 年度 石垣市教育委員会組織機構図	41

## はじめに

本市教育委員会では、

- ① 自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する
- ② 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する
- ③ 学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る

を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を実現する施策として、平成 24 年度は 135 事業を予算計上し、執行してきました。その中から新規及び終了事業は必ず評価の対象とすることとし、それらを含めて主要事業 28 事業を選定し、今年度の評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、「点検評価委員会」で内容等を点検しました。その後、学識経験者で構成される外部評価委員が各担当課職員にヒアリングを実施し、事業ごとに評価を付していただきました。その結果、外部評価委員から約 82% の事業が計画通りに執行されているという評価を受けました。

しかし、総合的な意見では、事業内容に重複するものや似たようなものがあり、調整や連携の必要性を指摘され、また予算面と事業内容の綿密な計画を立て、事業を次につなげることも大切であるという提言もいただきました。

また、短期的に学力を上げるだけでなく、子どもたちが勉強したくなる環境作りのため、石垣島の歴史遺産や建造物、自然そのものを学習教材としての活用も重要だとの意見もいただきました。

これらの意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、その結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

市民の皆様の教育行政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ○石垣市教育委員会委員名簿（平成 25 年 4 月 1 日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	高 木 健	平成 24 年 1 月 4 日～平成 25 年 12 月 15 日 (平成 24 年 10 月 1 日委員長就任)
委員長職務代理者	徳 松 節 子	平成 21 年 12 月 16 日～平成 25 年 12 月 15 日
委員	石 垣 朝 子	平成 22 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日
委員	仲 山 久 紀	平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
教育長	玉 津 博 克	平成 22 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日

### ○学識経験者（外部評価委員）

金 城 綾 子	石垣市婦人連合会会長 元石垣市立中学校校長
宮 地 竹 史	国立天文台石垣島天文台所長

【参考】

1 平成24年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系

【教育目標】

【主要施策】

【施策項目】



## I 教育委員会の活動

### 1 教育委員会の会議等の状況

本市教育委員会においては、毎月1回以上の教育委員会の会議の開催と自主研修会を実施し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

さらに、学校訪問や各種行事や視察等を積極的に行うなど、教育行政の推進に努めてきました。

教育委員会の会議については、原則として毎月第4金曜日に「教育委員会定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催しています。平成24年度は、定例会が12回、臨時会が3回の計15回開催しました。

また、平成21年度5月から、会議のほかに自主研修会を原則として毎月第2金曜日に実施。委員自らの課題意識に基づいたテーマを設定し、意見交換をしました。学ぶ教育委員のもとにこそ学ぶ仲間が増えるという思いから積極的に学習の機会を増やし、教育委員の資質の向上に努めました。

さらに、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区教育委員協会の総会・研修会等へ参加し、県内各地区の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研修を深めることができました。

### 2 審議状況

地教法第26条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、合計68件審議しました。

### 3 その他の活動状況

#### ○ 行事・大会等への参加

- ・ 市立小中学校 入学式・卒業式
- ・ 市立小中学校 運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・ 市立教育研究所 入所式・研究成果報告会
- ・ 学力向上推進実践報告会（市・八重山地区）
- ・ 教育講演会
- ・ 成人の日のつどい
- ・ 石垣島マラソン大会
- ・ いしがき教育の日の集い
- ・ 石垣市生涯学習フェスティバル
- ・ 石垣市自治公民館研究大会
- ・ 適応指導教室実践報告会
- ・ 市主催各行事

（石垣島トライアソン大会、石垣市制施行記念行事、石垣島まつり等）

■ 資料

(1) 教育委員会の活動状況一覧表

区分	会 議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	■ 定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第1回理事会(那覇市)・・・委員長</li> <li>■ 沖縄県市町村教育長協会第1回理事会(那覇市)・・・教育長</li> <li>■ 第41回沖縄県市町村教育長協会定期総会並びに研修会(北谷町)・・・教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各小中学校入学式参加</li> <li>■ 管外転入教職員歓迎会</li> <li>■ 自主研修会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 臨時会</li> <li>■ 定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第57回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会(宮古島市)</li> <li>■ 八重山地区教育長協会定期総会(宮古島市)</li> <li>■ 八重山地区教育委員協会定期総会(宮古島市)</li> </ul>	
6月	■ 定例会		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自主研修会</li> <li>■ 石垣市学力向上推進委員会総会</li> </ul>
7月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長会第1回連絡会(名護市)・・・教育長	
8月	■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第2回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 自主研修会
9月	■ 定例会		■ 教育研究所成果報告会
10月	■ 定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 沖縄県市町村教育委員研修会(那覇市)</li> <li>■ 八重山地区教育委員協会臨時総会(那覇市)</li> <li>■ 八重山地区教育長協会臨時総会(那覇市)</li> <li>■ 八重山地区教育委員協会及び教育長協会研修会(沖縄本島南部)</li> <li>■ 第5回全国離島等市町村教育長会島根県海士町大会</li> <li>■ 沖縄県都市教育長会第2回連絡会(浦添市)</li> </ul>	■ 自主研修会
11月	■ 定例会		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校訪問(登野城小、おおかわ幼、やえやま幼)</li> <li>■ 学校訪問(白保中)</li> <li>■ 学校訪問(明石小、あかし幼)</li> <li>■ 自主研修会</li> </ul>
12月	■ 定例会		■ 自主研修会
1月	■ 定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 沖縄県市町村教育長協会第2回理事会(那覇市)・・・教育長</li> <li>■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第3回理事会(那覇市)・・・委員長</li> <li>■ 沖縄県都市教育長会第3回連絡会(那覇市)・・・教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 石垣市成人式</li> <li>■ 学校訪問(白保小、しらほ幼)</li> <li>■ 学校訪問(吉原小)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 臨時会</li> <li>■ 定例会</li> </ul>	■ 平成24年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会(沖縄県庁)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いしがき教育の日の集い</li> <li>■ 学力向上推進実践報告会</li> <li>■ 適応指導教室実践報告会</li> <li>■ 学校訪問(大浜小、おおはま幼)</li> <li>■ 学校訪問(崎枝小中)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 臨時会</li> <li>■ 定例会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育研究所成果報告会</li> <li>■ 各小中学校卒業式参加</li> </ul>

(2) 教育委員会会議開催状況一覧

教育委員会の会議は、月1回の定例会議と、臨時に開催する臨時会がある。平成24年度の会議開催状況、付議件数及び内容は次のとおりである。

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	定例会	臨時会	合計
開催数	12回	3回	15回
付議件数	63件	5件	68件
	教育に関する基本的な方針に関すること。 規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 教育委員会事務局、教育機関(幼稚園・小中学校含む)の人事に関すること。 教育予算に関すること。 附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。		

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回定例会	4月20日	議案第1号	石垣市桃原用昇奨学生選考委員会規程の制定について	原案可決
		議案第2号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第3号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第2回臨時会	5月15日	議案第4号	指定園変更不許可処分に係る異議申立に対する決定について	承認
第3回定例会	5月24日	議案第5号	石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第6号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立図書館司書嘱託員設置要綱の一部を改正する要綱)	承認
第4回定例会	6月26日	議案第7号	石垣市青少年センターユースアドバイザー設置に関する規則の制定について	原案可決
		議案第8号	石垣市立八重山博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第9号	公文書公開の可否に関する処分に係る異議申立に対する決定について	承認
		議案第10号	公文書公開の可否に関する処分に係る異議申立に対する決定について	承認
		議案第11号	公文書公開の可否に関する処分に係る異議申立に対する決定について	承認
		議案第12号	臨時代理の承認について(石垣市立幼稚園入園料及び保育料の減免に関する規則の一部を改正する規則)	承認
		議案第13号	臨時代理の承認について(石垣市私立幼稚園就園奨励補助金交付要綱の一部を改正する要綱)	承認
第5回定例会	7月27日	議案第15号	平成23年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第16号	平成24年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第1号)の承認を求めることについて	承認
		議案第17号	石垣市指定文化財の指定について	承認
第6回定例会	8月29日	議案第18号	石垣市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第19号	平成24年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認



		議案第20号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求 めることについて	承認
第7回 定例会	9月27日	議案第21号	石垣市民会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正 する規則について	修正可決
		議案第22号	石垣市教育委員会委員長の選任について	高木健 選任
		議案第23号	石垣市教育委員会委員長職務代理者の選任について	徳松節子 選任
第8回 定例会	10月30日	議案第24号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則につい て	原案可決
		議案第25号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第26号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市児童生徒の市外派遣 に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第27号	臨時代理の承認を求めることについて(沖縄振興特別推進交付金に よる石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱)	承認
第9回 定例会	11月27日	議案第28号	教育委員会の権限に属するスポーツ及び文化に関する事務を市長 が管理し、及び執行することについて	承認
		議案第29号	いしがき教育の日表彰規程の一部を改正する規程について	修正可決
		議案第30号	臨時代理の承認を求めることについて(平成24年度石垣市一般会 計補正予算(第3号))	承認
		議案第31号	平成24年度石垣市一般会計補正予算(第5号)案提出の承認を求 めることについて	承認
		議案第32号	平成25年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めること について	承認
		議案第33号	平成25年度石垣市教育委員会(幼稚園教諭)人事異動方針の承認 を求めることについて	承認
		議案第34号	平成25年度石垣市立幼稚園園児募集要項の承認を求めることにつ いて	承認
第10回 定例会	12月20日	議案第35号	臨時代理の承認を求めることについて(平成24年度教育委員会事 務局人事異動)	承認
		議案第36号	石垣市教育委員会組織機構改革検討委員会規則の一部を改正す る規則について	原案可決
		議案第37号	石垣市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を 改正する規則について	原案可決
		議案第38号	石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則に ついて	原案可決
		議案第39号	平成24年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予 算(第2号)の承認を求めることについて	承認
		議案第40号	石垣市指定文化財の指定について(赤馬主の墓)	承認
		議案第41号	臨時代理の承認を求めることについて(沖縄振興特別推進交付金に よる石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を 改正する要綱)	承認
		議案第42号	臨時代理の承認を求めることについて(平成24年度石垣市教育事 務点検評価報告書(平成23年度事業対象))	承認
		議案第43号	平成24年度教育委員会教育機関(学校給食センター)人事異動内 示の承認を求めることについて	承認
第11回 定例会	1月29日	議案第44号	平成25年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の 承認を求めることについて	承認
第12回 臨時会	2月25日	議案第45号	平成25年度県費教職員人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第46号	平成25年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭等)定期人事異 動の内示の承認を求めることについて	承認

第13回 定例会	2月26日	議案第47号	石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第48号	石垣市職員定数条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第49号	工事請負契約に係る議案の議会提出の承認を求めることについて (石垣市立学校給食センター新增改築工事(建築))	承認
		議案第50号	工事請負契約に係る議案の議会提出の承認を求めることについて (石垣市立学校給食センター新增改築工事(厨房))	承認
		議案第51号	石垣市幼児教育振興会議設置要綱の制定について	修正可決
		議案第52号	臨時代理の承認について(石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則)	承認
		議案第53号	平成24年度石垣市一般会計補正予算(第6号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第54号	平成25年度石垣市一般会計予算(教育予算)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第55号	平成25年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
第14回 臨時会	3月21日	議案第56号	石垣市指定文化財の指定について(御絵図)	承認
		議案第57号	平成25年度教育委員会事務局・教育機関(学校を除く)定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第15回 定例会	3月25日	議案第58号	石垣市スポーツ推進委員に関する規則等を廃止する規則について	原案可決
		議案第59号	石垣市立学校プール開放に関する規程を廃止する規程について	原案可決
		議案第60号	大濱皓文化振興基金運営委員会設置要綱及び石垣市民会館舞台技術業務嘱託員設置要綱を廃止する要綱について	原案可決
		議案第61号	石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第62号	石垣市教育委員会事務局処務規程及び石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第63号	石垣市史跡フルスト原遺跡整備委員会設置要綱及び石垣市教育事務点検評価実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第64号	石垣市立八重山博物館嘱託員設置要綱の制定について	原案可決
		議案第65号	沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第66号	石垣市立小中学校外国語指導助手(ALT)の勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第67号	石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
議案第68号	石垣市幼児教育振興アクションプログラムの策定について	承認		

## II 教育事務点検評価

平成25年度教育事務（24年度事業）点検評価の結果一覧表

主要施策	事業名	担当課	内部評価	外部評価	ページ番号
1 生涯学習の充実	石垣島天文台運営事務費	いきいき学び課	○	○	9
	石垣市立八重山博物館外壁改修事業（沖振交）	博物館	○	○	10
2 学校教育の充実	学校図書館充実事業（光をそそぐ交付金）	総務課	○	○	11
	学齢児就学対策費	学務課	○	○	12
	学校給食費助成金（児童援助費）	学務課	○	○	13
	適応指導教室費	学校指導課	○	○	14
	学校評議員費	学校指導課	○	○	15
	冠鷲プロジェクト（学力向上推進事業）	学校指導課	○	○	16
	ICT教育強化事業（学力向上）（沖振交）	学校指導課	○	○	17
	すこやか子育て支援事業（沖振交）	学校指導課	△	○	18
	運営委員会費	給食センター	○	○	19
3 国際化・情報化等への対応	外国語学習支援事業（沖振交）	学校指導課	△	△	20
4 青少年の健全育成	石垣市子ども見守り隊事業	いきいき学び課	△	△	21
	「ユースアドバイザー」事業（沖振交）	いきいき学び課	△	○	22
5 社会教育の充実	石垣市生涯学習フェスティバル	いきいき学び課	△	○	23
	冠鷲プロジェクト（地域・家庭教育支援事業）	いきいき学び課	○	○	24
	図書館充実費	図書館	○	○	25
	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システム構築導入事業（沖振交）	図書館	○	○	26
6 文化の継承・発展	文化財保護啓発費	文化財課	○	○	27
	史跡土地買上事業	文化財課	△	△	28
	文化財ガイドマップ作成事業（沖振交）	文化財課	○	○	29
	旧大浜町史（仮称）編集事業	市史編集課	○	○	30
	いしがきの原風景写真等デジタル化事業（沖振交）	市史編集課	○	○	31
	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業（沖振交）	博物館	○	○	32
	喜舎場家所有資料等収集事業	博物館	△	△	33
7 スポーツの推進	児童・生徒選手派遣費補助事業（沖振交）	総務課	△	△	34
8 教育行政の充実	災害に備えた学校環境整備事業（沖振交）	学務課	○	○	35
	平真小学校水泳プール新築事業	学務課	○	○	36

評価凡例	内部評価	外部評価
○ 計画通り（達成度100%）	20事業	23事業
△ ほぼ計画通り（達成度70～100%未満）	8事業	5事業
× うまくいっていない（達成度70%未満）	なし	なし

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	石垣島天文台運営事務費				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現			
	施策項目	(2) 社会教育施設の利用促進及び事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	NPO法人 八重山星の会				
(2)目的	児童生徒学生等への天文学に係る教育、並びに市民への天文に係る生涯学習及び普及を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	施設見学および夜間観望に関する受付業務、夜間観望時における石垣島から観察できる星・星座の説明業務を実施するにあたっての人件費補助。				
(4)成果目標	天文台の山腹にある「青少年の家」とタイアップし、小学校における宿泊学習等で天文台を利用した取組を実施。また各地域をはじめ、社会教育団体の利用頻度を上げる広報・周知方法の検討。				
(5)根拠法令等	教育基本法・社会教育法・石垣島天文台運営協力協定書				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	1440 千円	23年度実績	決算額	1440 千円
開館日数 : 247日			開館日数 : 260日		
施設見学 :3,657人			施設見学 :1,474人		
夜間観望 :5,452人			夜間観望 :4,715人		
合計 :9,109人			合計 :6,189人		
	25年度目標	予算額	1440 千円		
	開館日数 : 260日				
	施設見学 :3,800人				
	夜間観望 :5,500人				
	合計 :9,300人				
区分	評価の説明				
<b>【内部評価】</b> ・開館以来、来台者はコンスタントに7千から8千人を維持しており、昨年は初めて9千名を記録し、9月には来台者合計が5万人を超えた。「南の島の星まつり」の影響もあり、市民並びに観光客の関心も高まっている。また、今年7月には新しい施設「星空学びの部屋」がオープンしており、来台者の更なる増加が見込まれる。 (開館からH24年度末までの来台者数は53,869人)					
<b>【外部評価】</b> ・地域の特性を生かした天文学教育や天文に係る市民への普及には開館以来の来台者の増加からもわかる通り得るものが大である。今後も右肩上がりの現象が期待できるので学校教育との連携や魅力あるイベント等を企画したり、宣伝をすればする程その効果が期待できるので運営活動に力を注いでほしい。 ・石垣島天文台を活用して、市民の学校教育や生涯教育に役立て、観光客の誘客にも効果を上げているが、派遣職員の仕事は質、量ともに増加しており、業務内容に応じた人件費の増額が必要である。また、天文台を活用した様々な企画を立てて欲しい。さらに天文台の来訪者が安全安心で通行できるような林道整備が急務である。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	博物館		
事務事業名	石垣市立八重山博物館外壁改修事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現[生涯学習の充実]			
	施策項目	(2) 社会教育施設の利用促進及び事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立八重山博物館				
(2)目的	博物館は貴重な歴史、民俗資料を収蔵保管していく必要があるが、本館は築40年が経過しており、外壁剥離、ひび割れ等の老朽化が見られるため改修工事が必要。来館者の安全確保と、収蔵品等への環境保全を図り、市民や観光客に開かれた事業を展開する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	博物館外壁改修工事の実施。				
(4)成果目標	博物館外壁改修工事により安全確保と館の環境保全を図る。				
(5)根拠法令等	石垣市立八重山博物館条例施行規則				
【事業実績・目標】 平成25年3月完了					
24年度実績	決算額	1,449 千円	23年度実績	決算額	千円
・平成24年度単年度事業 施工期間平成25年2月6日～3月1日			25年度目標	予算額	千円
区分	評価の説明				
【内部評価】	・外壁剥離、ひび割れ等でむき出しになっている鉄筋を再びコンクリートで覆うことができた。入館者の安全確保をはじめ、収蔵品等の保管が安全になることにより、今後の博物館事業の展開に大きく役立つことができる。				
【外部評価】	・博物館には貴重な資料の収蔵保管ばかりでなく、広く人々に展覧する役割もある。しかし、築40年ともなると経過と共に外壁剥離やひび割れ等も生ずる。今後は防災機能を意識した改修工事は常に必要である。歴史や伝統文化が継承される場として活用されたい。 ・収蔵品の保護のための重要な事業であり、今年度実施できたことを評価したい。移転計画も見据えて、引き続きの努力をお願いしたい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	総務課		
事務事業名	学校図書館充実事業(光をそそぐ交付金)				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実 [学校教育の充実]			
	施策項目	(1)心の教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市立小中学校				
(2)目的	野底小と富野小中及び明石小と平久保小の兼務を解消し、各校1名の配置により学校図書館の機能が発揮できるよう、運営の充実を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校図書館事務の人材の確保				
(4)成果目標	図書を選定・購入・除籍等の整備管理を行い、児童が読書活動のできる環境を提供し、利用促進を図る。				
(5)根拠法令等	学校図書館法				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	3,685 千円	23年度実績	決算額	1,739 千円
□ 配置校 野底小学校(1名) 明石小学校(1名)		□ 配置校 野底小学校(1名)			
		25年度目標	予算額	- 千円	
区分	評価の説明				
【内部評価】					
光をそそぐ交付金事業活用による学校図書館の管理運営の充実を図ることができた。本事業は平成24年度完了となったが、今後も持続的に人材が確保できるよう務める。					
【外部評価】					
<p>・学校図書館には読書センター、学習センター、資料情報センターの三つの機能がある。学校図書館の充実とは主体的な学習へとつながる。今回、学校図書館の事務の人材確保は、学校図書館を整備し、図書館を利用する児童の育成となり、小規模校の子どもたちが多種多様な教材や場面に直面し、学校図書館を見直したに違いない。図書館に常時司書がいることは、児童がどう変わったか、学校全体の雰囲気はどう変わったか、学校図書館の果たす役割の大きさはこれからも重要視される。</p> <p>・学校図書館職員の各校1名の配置ができたことは、児童たちが学校図書に触れる機会を作る上でも良かった。持続的に、図書館活動のできる人材を確保することが望まれる。</p>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学務課		
事務事業名	学齡児就学対策費				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実			
	施策項目	3 たくましい心と体をはぐくむ教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象	新就学児童				
(2)目的	就学予定者の心身の状態を的確に把握し、保健上必要な勧告・助言を行うことにより適正な就学を図ることを目的とする。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○各小学校・幼稚園で就学時健康診断(視力・聴力検査、内科・歯科検診)を実施				
(4)成果目標	95%以上の受診率を目標とする。				
(5)根拠法令等	学校保健安全法				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	1,104 千円	23年度実績	決算額	1,032 千円
<input type="checkbox"/> 対象児童数 598人 <input type="checkbox"/> 受診児童数 578人 <input type="checkbox"/> 受診率 96.7%			<input type="checkbox"/> 対象児童数 558人 <input type="checkbox"/> 受診児童数 542人 <input type="checkbox"/> 受診率 97.1%		
			25年度目標	予算額	1,226 千円
			<input type="checkbox"/> 対象児童数 636人 <input type="checkbox"/> 受診率 95%以上		
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・幼稚園・保育所(園)、学校医、学校歯科医等の各関係機関の協力により、目標とする受診率を達成できている。</li> <li>・受診率を上げていくためには、未受診者の状況を調査・分析し、対応策等を検討する。</li> </ul>					
【外部評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子どもも心身健康で健やかに育ち健全な学校生活をおくって欲しいと誰もが願う。就学予定者に就学時健康診断を実施しているがその実施率は高い。今後とも書く関係機関と連絡連携を図りながら、事業の推進に努めてほしい。</li> <li>・対象児童数が増加したことにより、受診率が昨年度より下がっているが、就学に向けての保護者との小学校、幼稚園との連携や信頼関係を築く上でも重要な事業であり、受診率を上げて欲しい。</li> </ul>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学務課
事務事業名	学校給食費助成金(児童援助費)		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]	
	施策項目	(3) たくましい心と体をはぐくむ教育の充実	
【事業概要】			
(1)対象	市立小中学校に在学する児童生徒のうち、同一世帯第3子以降をもつ保護者		
(2)目的	対象児童生徒へ給食費を助成することにより、保護者の教育費の負担軽減及び子育て支援の推進を図り、もって本市の教育の充実に資する。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	石垣市立小学校及び中学校に在学する児童生徒のうち、同一世帯における3人目以降の児童生徒に係る学校給食費の全額を助成する。		
(4)成果目標	同一世帯における第3子以降の給食費の全額を助成することにより、教育費の負担軽減や子育て支援の推進を図り、本市の教育の充実に寄与する。		
(5)根拠法令等	石垣市学校給食費助成金交付要綱		
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	7,789 千円	23年度実績
決算額	7,788,965円		決算額
◇小学校	[対象校]	吉原小他15校	— 千円
	[対象者数]	247 人	
◇中学校	対象者なし		
	25年度目標	予算額	10,019 千円
	◇小学校	9,911,000円[対象校 15校]	
		対象者数 254人	
	◇中学校	108,000円[対象校 2校]	
		対象者数 3人	
区分	評価の説明		
【内部評価】			
平成24年度からの新規事業である。子育て世代の教育費の負担軽減や子育て推進を図る目的で実施されており、その目的は十分に達成されている。			
【外部評価】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食は食事の重要性及び食事の喜び、楽しさを味わってほしいと給食時間の子どもたちの顔をうかべながら文をしたためている。同一世帯における第3子以降の給食費の助成はすごい。同時に市全学校における給食費納入にもつながっていて高く評価できる。新しい給食センターの機能を活かし未来を担う子どもたちの食生活に努めてほしい。</li> <li>子育て世代への新しい支援事業として企画され、その目的も十分達成できているようで高く評価できる。</li> </ul>			



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課
事務事業名	適応指導教室費		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]	
	施策項目	(5)特別支援教育の推進	
<b>【事業概要】</b>			
(1)対象	児童生徒		
(2)目的	・不登校の児童・生徒(心因性)に対し、自立心を高め、社会性を身につけさせるための援助指導を行い、学校適応を図る。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	・あやばに学級の開級・入級判定(相談)・援助指導(児童生徒、保護者、原籍校、その他)・実践報告会・学習ボランティアの募集・学校訪問・入級相談・適応指導教室協力者会議		
(4)成果目標	・原籍校復帰を目指しながら、段階的援助指導に重点を置いた指導を行う。		
(5)根拠法令等	・文部科学省初等中等教育局長通知		
<b>【事業実績・目標】</b>			
24年度実績	決算額	4,907 千円	23年度実績
・担当教諭 1名 ・適応指導員 2名  ・入級 9名(うち体験通級4名を含む。高校進学 3名、原籍校復帰 2名)  ・日々心の居場所作りに努めたり、多様な体験活動やソーシャルスキルトレーニング等に取り組むことにより、自己肯定感の育成、存在感、自己好意感、効力感、有用感を子どもたちに持たせることができた。			指導員(相談員)2名  ・入級 8名(高校進学 2名 原籍校復帰 5名) ・体験入級 5名
			25年度目標
			予算額
			4,996 千円
			・担当教諭 1名 ・適応指導員 2名 ・保護者の悩み解決支援、定期的な支援会議の定着、研修会参加体制のさらなる充実。 ・焦らず、ゆっくり、じっくりと子どもの変容を見守る。 ・共感し、受け入れ、信頼関係を結び、しっかりと関わっていく。
区分	評 価 の 説 明		
<b>【内部評価】</b>			
・適応指導教室の最終的な目標は、児童生徒の学校復帰を図ることである。平成24年度は3年生が全員高校進学を果たすなど、児童生徒のがんばりが見られた。今後とも入級から退級まで、学校や保護者と連携して、児童生徒の変容を焦らず、急がず、見守っていくことが大事である。			
<b>【外部評価】</b>			
・「適応指導教室の最終的な目標は、児童生徒の学校復帰を図ることである」と内部評価にあるが、この言葉の意味は重い。一人一人は何ものにもかえ難い存在であり、それぞれが抱えている問題は内に潜んでいる。24年度の実績の一つに、全員が高校進学を果たしている。かかわった方々の目にはみえないご苦労に心から感謝する。次年度も児童生徒の自己実現への道の手助けを関係機関と連携を図りながらとりくんでほしい。 ・子供の居場所づくりとして、担当教諭、指導員の適切な配置、活躍によって、児童生徒の学校復帰を図るなど、十分に成果を上げていることは高く評価できる。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課		
事務事業名	学校評議員費				
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(8) 魅力ある学校づくりの推進			
<b>【事業概要】</b>					
(1) 対象	小中学校				
(2) 目的	学校が保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、その協力を得るとともに「開かれた学校づくり」を推進する。				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	小学校及び中学校に学校評議員を置くことにより、保護者や地域住民等の意向を把握反映させ、その協力を得るとともに「開かれた学校づくり」を推進する。				
(4) 成果目標	全小中学校に学校評議員を委嘱し、学校の実態に応じた会議を行うことにより、「開かれた学校づくり」を推進する。				
(5) 根拠法令等	石垣市立学校評議員設置要綱				
<b>【事業実績・目標】</b>					
24年度実績	決算額	490 千円	23年度実績	決算額	470 千円
小中学校に委嘱。委嘱率100% (学校評議員:合計98名)		小中学校に委嘱。委嘱率96% (学校評議員:合計94名)			
		25年度目標	予算額	625 千円	
		全小中学校に委嘱。 (学校評議員: 名×25校×5千円)			
区分	評価の説明				
<b>【内部評価】</b>					
・全小中学校で学校評議員を委嘱することができた。学校の実態に応じた会議を行い「開かれた学校づくり」の推進が図られた。					
<b>【外部評価】</b>					
・学校評議員制度とは、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていくために位置付けされたものである。石垣市の全小中学校で学校評議員を委嘱することができ、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し「開かれた学校づくり」が積極的に展開され評価できる。人数も3～5名と学校規模に合わせて委嘱しているのは良い。ただ、「学校評議員は、校長の推薦により設置者が委嘱する」ことをかんがみるならば、男女共同参画社会づくりの視点からも学校評議員の男女バランスを考慮する必要があるかと思われる。 ・「開かれた学校づくり」ということだが、具体的にどのような成果が上がっているのかよくわからない。必要性を含め、あり方を再検討して欲しい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>							
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課				
事務事業名	冠鷲プロジェクト(学力向上推進事業)						
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]					
	施策項目	(2)確かな学力の確立(3)たくましい心と体をはぐくむ教育の充実					
<b>【事業概要】</b>							
(1)対象	本市児童生徒						
(2)目的	本市が推進する「学力向上」を効果的に実行するために、ソフト・ハード両面から推進支援体制の充実を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市内小中学校より						
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教育の推進</li> <li>・校務のスリム化</li> </ul>						
(5)根拠法令等							
<b>【事業実績・目標】</b>							
24年度実績	決算額	2,160 千円	23年度実績	決算額	2,144 千円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組事項の重点化と日常化</li> <li>○知能検査の実施(小学2年～小学6年)</li> <li>○市学力向上推進研究校の指定(小学校2校)</li> <li>○教育講演会の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組事項の重点化と日常化</li> <li>○知能検査の実施(小学2年～小学6年)</li> <li>○市学力向上推進研究校の指定(小学校2校)</li> <li>○教育講演会の実施</li> </ul>		25年度目標		予算額	2,321 千円
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組事項の重点化と日常化</li> <li>○知能検査の実施(小学2年～小学6年)</li> <li>○市学力向上推進研究校の指定(小・中学校3校)</li> <li>○教育講演会の実施</li> </ul>			
区分	評 価 の 説 明						
<b>【内部評価】</b>							
<p>・市学力向上推進要項により、学力向上推進事業についての理解を図ることができた。また、年3回の家庭学習強化月間、早寝早起き朝ごはん運動の推進、夏休み基礎基本強化学習会の実施により学習環境の改善が推進されている。標準学力調査とクロス集計ができる生活実態調査を実施することにより、基本的な生活習慣の形成等に役立てることができた。さらに、小学校2年生以降の全児童に知能検査を実施し、学習を支える各領域の把握ができ、授業改善等に活用することができた。</p>							
<b>【外部評価】</b>							
<p>・石垣市の幼児児童生徒が将来豊かな自己実現を図るために、学力向上推進事業があり本市は冠鷲プロジェクトというネーミングのもと諸事業を展開している。各学校においては、学力向上推進計画を作成し実効性のある実践を積み上げている。本市における冠鷲プロジェクトも今やマスコミを通じ広く市民にも浸透していると思われる。ただ、内容面において家庭学習強化月間や夏休み基礎強化学習等、これまでのものと新しく取り組んだものの接続や整合性を図りながらすすめていただきたい。</p> <p>・すぐに成果の出る事業ではないので、目標達成度が良くわからないが、多彩な取り組みをおこない努力していることは評価できる。児童生徒へ学習意欲を持たせるような取り組みを期待したい。</p>							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課
事務事業名	ICT教育強化事業(学力向上)(沖縄振興特別推進交付金)		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]	
	施策項目	(2) 確かな学力の確立	
【事業概要】			
(1) 対象	本市児童生徒		
(2) 目的	市内の小・中学校へ主要教科のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示やシミュレーション、映像資料等による児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	○デジタル教科書の購入 ○教育用ソフトの購入		
(4) 成果目標	○市内の小中学校へデジタル教科書、教育用ソフトを配布する		
(5) 根拠法令等			
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	5,229 千円	23年度実績
○教育用ソフトの購入 5,229千円			決算額
フラッシュ教材の購入(全小学校)			千円
		25年度目標	予算額
			16,000 千円
		○デジタル教科書の購入 ○教育用ソフトの購入	
区分	評 価 の 説 明		
【内部評価】	・フラッシュ教材の購入・各学校への配布は予定どおり完了した。		
【外部評価】	<p>・確かな学力を身につけるためには、自ら学び豊かに自己表現する姿勢が大事である。そのために、本市教委がフラッシュ教材を購入し各学校に配布できたことは、学習意欲を高めるためにも良好である。今後は、学習指導案への位置づけや、使用例の研修会等が望まれる。</p> <p>・電子機器の普及が進んでおり、デジタル教科書の導入の必要性を感じるが、教員よりも、生徒たちが触れて学べるような活用が必要ではないか。本来の目的の学力向上にどうつなげていくのかよく見えない。持つだけでなく、学習にどう活用してどのような効果があがったか、経験交流を進めて欲しい。</p>		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課		
事務事業名	すこやか子育て支援事業(沖縄振興特別推進交付金)				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(6) 幼児教育の充実			
【事業概要】					
(1) 対象	幼稚園児				
(2) 目的	幼稚園教育を希望する保護者が、安心して子育てできる環境整備のため、預かり保育を実施する。				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	○実施幼稚園の施設設備の整備・改修 ○保育士の募集				
(4) 成果目標	○市内幼稚園の預かり保育の実施				
(5) 根拠法令等	・石垣市立幼稚園預かり保育条例施行規則				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	720 千円	23年度実績	決算額	千円
○保育士の賃金(雇用者4名) 128千円 ○施設設備の整備・改修のための工事費(4園) 409千円 ○備品購入費 170千円 ○消耗品費 13千円					
			25年度目標	予算額	1,162 千円
			○保育士の賃金(雇用者3名) 128千円 ○施設設備の整備・改修のための工事費(3園) 409千円 ○備品購入費 170千円 ○消耗品費 13千円		
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
<p>・預かり保育利用アンケート調査では、7割近くとニーズは高いものの、年度途中の1月から実施したせい、利用者数は目標を下回った。次年度へ向け、更なる工夫改善を図る必要がある。</p> <p>・25年度は、全園実施に向け、保護者の就労支援及び子育て支援の取り組みを強化する。</p>					
【外部評価】					
<p>・保護者が安心して子育てできる場の設定の一つが預かり保育である。それは、集団の一員としての自覚を高めることと自主的な生活態度を図る効果もある。アンケート調査でもニーズは高いとされているので、今後は、募集方法や預かり保育の手引き等での誘いも考えられるので普及活動に努め、幼稚園とも連携を図りながら預かり保育のより一層の充実を望む。</p> <p>・市民だけでなく、ダイビングなどの体験型の観光客や、各種の研究会、研修会のために石垣島を訪れる子育て世代を支援する体制を早々に作る必要がある。そのスタートとなる事業で大いに期待できるもので、予算も大幅に確保して推進してほしい。</p>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校給食センター
事務事業名	運営委員会費		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実(学校教育の充実)	
	施策項目	(4)食育の推進	
<b>【事業概要】</b>			
(1)対象	学校給食センター運営委員会		
(2)目的	石垣市立学校給食センター設置条例第7条の規定に基づき石垣市立学校給食センター運営委員会の運営に関し、必要な事項を定める。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	年に3回の運営委員会開催。		
(4)成果目標	全員出席		
(5)根拠法令等	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例		
<b>【事業実績・目標】</b>			
24年度実績	予算額	32 千円	23年度実績
			決算額
			18 千円
第1回 3,500×3名=10,500 第2回 3,500×2名=7,000 第3回 3,500×2名=7,000 計 24,500円			第1回 3,500×2名=7,000 第2回 3,500×2名=7,000 第3回 3,500×1名=3,000 計17,000円
			25年度目標
	予算額	32 千円	
			3,500×3名×3回=31,500円
区分	評価の説明		
<b>【内部評価】</b>			
・年3回の運営委員会を計画的に開催できた。			
<b>【外部評価】</b>			
・食育の推進及び学校給食の目標達成のため、給食センター運営委員会が開催されている。審議の内容は食に関する事項や給食会計等であるが、食文化が心身の健全な発達に資することで年3回の運営は妥当である。新給食センターへの期待は、子どもたち保護者のみならず地域が期待するところである。			
・運営委員会の役割、効果が良く見えない。継続的な事業であり、幅広く多くの意見を反映できるようお願いしたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学校指導課		
事務事業名	外国語学習支援事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進[国際化・情報化への対応]			
	施策項目	(3)小学校専属語学指導助手(ALT)の活用			
<b>【事業概要】</b>					
(1)対象	市立小学校児童				
(2)目的	・小中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小中学校に小中学校外国語学習指導助手を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	・外国語指導助手(ALT)を配置 ・各小中学校へALTを派遣				
(4)成果目標	・新学習指導要領にもとづく、小学校外語活動学習における指導技術向上への支援 ・ALTと現場教師とのTTによる外国語の音声や表現に親しませ、コミュニケーション能力の素地を養う。				
(5)根拠法令等	学習指導要領				
<b>【事業実績・目標】</b>					
24年度実績	決算額	5,402 千円	23年度実績	決算額	4,131 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTを小学校に一人増員(小学校 2名、中学校 1名)</li> <li>中学校では、英語の授業でALTとティームティーチングを行い、英語を使ったコミュニケーション活動を行うことができた。また、スピーチコンテストに向けて、各中学校から要請のあったスピーチ原稿の手直し等を行うことができた。</li> <li>20校ある市内の小学校でおもに5、6年生を対象に外国語活動を行うことができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTを小中各1名ずつ配置</li> <li>市内小中学校の要請に基づき計画的にALTを派遣し、外国語活動、英語の授業やその他国際理解教育活動の活性化に寄与できた。</li> </ul>			
		25年度目標	予算額	9,051 千円	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTを小学校一人増員(小学校3名・中学校1名)し、各小中学校からのALT訪問要請に基づき計画的にALTを派遣し、外国語活動の授業やその他国際理解教育活動の活性化に寄与する。</li> </ul>			
区分	評価の説明				
<b>【内部評価】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業以外に、一人で中学生を対象に毎年開催されているスピーチコンテストに向けて原稿の手直しやアドバイスを要請のあった市内の中学校に出向いてサポートし、結果も出ているのは評価できる。</li> <li>これまで一人で市内の小学校を訪問していたALTが二人になったことにより、訪問する回数が多くなり、子どもたちが英語を聞いたり、話したりする機会が多くなったが、二人で20校を訪問するのは、教材研究や現場の先生方との打ち合わせ、児童生徒とふれあう時間が少ないので、検討する必要がある。</li> </ul>					
<b>【外部評価】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育を推薦する上において、外国語学習支援事業は、国際社会に貢献できる児童生徒の育成につながりALTの果たす役割もますます重要視される。又、内部評価からもうかがえるに、外国語によるコミュニケーションのみにとどまることなく異文化に対する関心や理解を深める効果もあるので、本市におけるこれからの国際理解教育の更なる充実を期待したい。</li> <li>海外との交流の機会が増える中で、重要な事業であり、増強計画も持って実施されており、目標達成への期待も込めて評価したい。</li> </ul>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	石垣市子ども見守り隊事業				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成			
	施策項目	(7) 地域の教育力の活性化			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	地域社会は家庭や学校等を含んだ子どもたちの主要な生活圏であり、子どもの安心安全の確保や社会性を身につける重要な役割を担っています。地域の関係性が希薄になりつつある現代において、かつてのように「よその子どもわが子同様見守り育てる」地域の教育力を醸成する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○石垣市子ども見守り隊ボランティア隊員の募集 ○ポスターやステッカー等による広報・啓発				
(4)成果目標	通年を通して各種イベント等の機会に乘じ、広報・啓発することで本事業の趣旨を周知し、市民多数のボランティア隊員登録を促す。				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	111 千円	23年度実績	決算額	828 千円
<input type="checkbox"/> ボランティア隊員登録数 17名(累計309名) ※団体等は代表者のみの登録のため実数は上記数字以上の見込である。 <input type="checkbox"/> ラジオ広報 6月実施 <input type="checkbox"/> ポスター等配布(市内スーパー、商店等) <input type="checkbox"/> 青少年健全育成協議会総会、石垣市推進委員会、青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動石垣市大会、一斉夜間街頭指導等のイベント時の広報			<input type="checkbox"/> ボランティア隊員登録数 115名(累計292名) ※団体等は代表者のみの登録のため実数は上記以上の見込である。 <input type="checkbox"/> ラジオ広報 5月、8月、10月、12月実施 <input type="checkbox"/> ポスター等配布(市内スーパー、商店等)		
			25年度目標	予算額	0 千円
			<input type="checkbox"/> ボランティア隊員登録数 3名(累計312名) <input type="checkbox"/> ポスター等配布(市内スーパー、商店等) <input type="checkbox"/> イベント時の広報等 <input type="checkbox"/> 関係機関・団体等への周知・ボランティア隊員募集案内		
区分	評 価 の 説 明				
<b>【内部評価】</b> ・ボランティア隊員の登録数を増やすことで、これまで青少年の健全育成に携わる機会のなかった市民の関心を掘り起し、地域での活動の活性化により本事業の目的を達成しようとするが、既にあらゆる団体が同様の活動をしていることや集団でのパトロール等実施との誤解があることなどから登録数が伸びないため、今後登録制にする必要があるのか等を含め本事業の目的達成のための効果的な方法を検討する。					
<b>【外部評価】</b> ・近年、市街地の拡大化がすすみ、子どもたちを取りまく社会環境が、大きく変化している。共に、家庭や地域社会における人間関係の希薄化が進み、今一度「今日的な目で」地域の子どもの生活を注視する必要がある。子ども見守り隊の意義は、誰もが認めるところであり、ボランティア活動と子ども見守り隊の活動の接続をうまく調和させ次に期待したい。 ・青少年の育成は、地域を挙げて取り組むべき課題で、その一環としての子ども見守り隊事業は、ぜひ推進してほしい。家庭や地域でも取り組んでいけるような工夫も行い、予算も大幅に増やして発展させてほしい。深夜の子供の徘徊は、文化都市石垣市としても取り組むべき重要課題であり、今後の取り組みを期待したい。					



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	「ユースアドバイザー」事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成(青少年の健全育成)			
	施策項目	(7) 地域の教育力の活性化			
<b>【事業概要】</b>					
(1) 対象	困難を有する児童生徒及び若者				
(2) 目的	社会生活を円滑に営む上で困難を有する児童生徒及び若者の様々な環境に働きかけ、ユースアドバイザーを配置し、上記該当者の自立支援を図る。				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	1. 困難を有する児童生徒・若者の保護者、学校、家庭へ支援をするため関係機関との連絡調整及び情報交換を行う。 2. ユースアドバイザーの資質向上を図るため、調査・研究、研修を行う。				
(4) 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の不登校児童は基準年度(H23年度)の16人から毎年1名の減少を目指し10年後には半減を目標とする。</li> <li>・中学校の不登校生徒は基準年度(H23年度)の41人に比し、毎年2名の減少を目指し10年後には半数の20名以下を目標とする。</li> </ul>				
(5) 根拠法令等	石垣市青少年センターユースアドバイザー設置に関する規則				
<b>【事業実績・目標】</b>					
24年度実績	決算額	5,501 千円	23年度実績	決算額	一千円
<input type="checkbox"/> ユースアドバイザー嘱託員3名報酬費  <input type="checkbox"/> ユースアドバイザー嘱託員3名の研修旅費 ・沖縄県の子ども若者をめぐる状況と支援を考える講演会 ・教育関係者のための特別教育講座 ・子ども若者育成支援推進法説明会 ・青少年育成アドバイザー養成講習会 ・県青少年育成者研修会及び先進地(那覇市教育委員会・宜野湾市・沖縄市)現地研修 <input type="checkbox"/> 児童・生徒・若者支援 ・小学生・・・ 2名 ・中学生・・・ 8名 ・過卒生・・・ 1名      計 11名		25年度目標    予算額      8,563 千円  <input type="checkbox"/> こども・若者支援養成講習会への参加 <input type="checkbox"/> 小学生・中学生の不登校の低減を図るための家庭・学校・福祉行政機関等との連携			
区分	評 価 の 説 明				
<b>【内部評価】</b>					
・24年度は、小学生2名・中学生8名・過卒生1名計11名を支援し、2名の児童の学校復帰を図ることができた。 ・事業を開始し、まだ半年余であり、今後ユースアドバイザー嘱託員の研修を踏まえ、職員のスキルアップを図る必要がある。 ・家庭、学校、福祉行政、地域(主に民生・児童委員)等との横の連携がまだ不十分である。長期に渡る不登校児童生徒の解消・対策として、早期発見、早期対策が必要であるが、関係機関との連携を図る調整機関としての総合窓口を行政や民間のNPO等へ設置に向け対策を図ることが求められる。					
<b>【外部評価】</b>					
・ユースアドバイザー事業の趣旨は理解できるが、外部に対して一口に言うとなんか事業なのか説明がほしいところである。9月から開始し、手探りの状態の中での取り組みだが「2名の児童の学校復帰を図ることができた」と成果もみられる。子どもたちの抱える問題には多様なケースが考えられるので慎重な対応が必要であり、アドバイザーの研修会や関係機関等との連携を密にして支援してほしい。 ・不登校の子供、家庭への支援は、多くの困難を抱えつつ、粘り強い努力が必要な事業であるが、成果を上げていると思われる。研修なども必要と思うが、地元での活動費を増やす方が重要である。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	いきいき学び課
事務事業名	石垣市生涯学習フェスティバル		
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育の活性化をめざして	
	施策項目	(5) 社会教育関係団体の育成・活動支援	
【事業概要】			
(1) 対象	石垣市民、社会教育団体		
(2) 目的	生涯学習のまちづくり推進と各講座教室の実践発表および集大成として生涯学習の推進を図る。		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	舞台発表、展示コーナー、体験コーナー等を設け、年間の成果発表を行うと共に一般市民の体験の場とする。		
(4) 成果目標	市民会館中ホールを会場として、市民へ生涯学習の広報と周知を図り、市民参加型イベントの継続を図りたい。		
(5) 根拠法令等	教育基本法・社会教育法		
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	110 千円	23年度実績
			決算額
			112 千円
来場者:約1,000名  参加団体:舞台出演 12団体 展示出品 14団体 体験コーナー 2団体 アトラクション 1団体 計 29団体(約300名)		来場者 :約1,000名余り 参加団体:39団体 (舞台・展示・体験・アトラクション・バザー)	
		25年度目標	予算額
			112 千円
		来場者 :約1,200名余り 参加団体:40団体 (舞台・展示・体験・アトラクション・バザー)	
区分	評 価 の 説 明		
【内部評価】	・生涯学習フェスティバル事業も定着をし、精力的に活動するサークルが生まれるなど、一定の成果が上がっている点は評価されます。 しかし、発表の場であるフェスティバル自体のマンネリ化を解消するべく、生涯学習掲示板の活用や、フェスティバル参加団体をさらに広く募り、市内で活動する社会教育・生涯学習団体間交流の輪を広げるような試みも必要と考える。		
【外部評価】	・生涯にわたって学び続け、社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図っていく人間の育成が求められる。生涯学習のまちづくりの推進と生涯学習の実践発表を重ねた生涯学習フェスティバル事業は一定の成果をあげている。今後は、市民に浸透させる工夫や学社融合の観点からの活動が必要となろう。 ・事業内容は、素晴らしいものがあり、フェスティバルでは活動発表だけにせず、幅広い市民がいろんな楽しい体験ができ、参加したくなるような工夫が必要である。		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	いきいき学び課
事務事業名	冠鷲プロジェクト(地域・家庭教育支援事業)		
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実	
	施策項目	(5) 地域・家庭支援事業の推進	
【事業概要】			
(1)対象	市内全児童		
(2)目的	県内最高水準の学力を目指し、学校、家庭、地域、行政が一丸となり、総合的な学力向上を図る。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ少年団や各種団体等と連携を図り、学校の授業終了後に隙間の時間帯等を使用し、「読み・書き・計算力」を身に付けさせ、総合的な学力の向上を図る。</li> <li>○ 地域の諸団体(スポーツ少年団等)への参加呼びかけ</li> <li>○ 夏休み基礎・基本強化学習会</li> <li>○ 地域教育懇談会及び実施団体意見交換会の実施</li> </ul>		
(4)成果目標	学習支援実施団体:15団体(実施児童数:450名)		
(5)根拠法令等	教育基本法、社会教育基本法、冠鷲プロジェクト地域・家庭支援事業実施要項		
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	2,428 千円	23年度実績
(実施団体)			決算額
①シルバー人材センター	⑦新小男子ミニバスケット		1,754 千円
②平真小ミニバスケット	⑧新小女子ミニバスケット		(実施団体)
③登小ミニバスケット	⑨新小女子バレークラブ		10団体実施(参加児童数:258名)
④石小FC	⑩真喜良小学校		25年度目標
⑤少年荒鷲野球団	⑪ゆんたく家教室		予算額
⑥新小ドルフィンズ	⑫図書館教室		2,703 千円
※ 12団体実施(参加児童数:374名)			(実施団体)
			17団体実施(参加児童数:450名)
区分	評 価 の 説 明		
【内部評価】			
<p>・本事業も3年目に入り、実施団体および参加児童数も年々増加しております。また、実施団体からの要望事項であった、高校生等の指導者も7月には4名も配置する事が出来るなど、事業内容は徐々に充実して来ており、今後も更なる向上を目指したい。</p>			
【外部評価】			
<p>・冠鷲プロジェクトは学校・家庭・地域がそれぞれの役割を深く認識し、連携をとり的確に展開を図っていくことが大事である。隙間学習においては、多くの部が参加し部活動支援費に還元され相乗効果が見られる。地域教育講演会等の開催により、多くの地域の方の意見(支える教育)を参考にされ内容の充実に努めてほしい。</p> <p>・スポーツ活動、団体に参加している子供たちへの学習支援への取り組みは高く評価できる。ただ、冠鷲プロジェクトが、石垣市全体の学力向上を目指しているものなので、スポーツ団体に参加していなくても、放課後などに学習支援を受けられるような仕組み作りも必要だと思われる。</p>			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	市立図書館
事務事業名	図書館充実費		
施策 体系	主要施策	5家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)	
	施策項目	8図書館活動の充実	
【事業概要】			
(1)対象	市民		
(2)目的	住民の知的要求に対応し、幼児からお年寄りまで、全ての市民が気軽に利用できる図書館を目指す。そのためには市民感覚と生活形態に密着した資料の充実に務めるとともに、職員の資質の向上と市民レファレンスサービスを強化する。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における読書推進活動に対し積極的に取り組む。</li> <li>・他図書館とのネットワークを推進する。</li> <li>・移動図書館の活用により、地域読書環境の整備を図る。</li> <li>・子ども読書活動推進計画を基にブックスタートを推進する。</li> </ul>		
(4)成果目標	図書館活動を充実することにより、読書環境を向上させ、その健全な発達を図り、市民の教育と文化の発展に寄与する。		
(5)根拠法令等	図書館法		
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	32,807 千円	23年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 嘱託員 4名</li> <li>○ 賃金職員 5名</li> <li>○ 購入図書 6,742冊</li> <li>・一般書 2,345冊・児童書1,659冊・郷土書861冊・雑誌1,777冊・AV100冊</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 賃金職員 8名</li> <li>○ 購入図書 8,694冊</li> <li>・一般書 3,940冊・児童書1,860冊・郷土書926冊・雑誌1,847冊・AV121冊</li> </ul>
			25年度目標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 嘱託員 4名</li> <li>○ 賃金職員 5名</li> <li>○ 購入図書については23年度実績の8,694冊を超える購入希望図書はあるが、予算額を考えると、前年度並みと予想される。</li> </ul>
25年度目標	予算額	32,163 千円	
区分	評 価 の 説 明		
【内部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算のほぼ全額を執行し、当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標を達成できた。</li> </ul>		
【外部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館がその機能を活用させることにより、その培った力でもって、利用者は地域の図書館に移行する。人間にとっての健全な発達と、生涯にわたって学び続ける意欲をもつ人間に育ていくために市立図書館はなくてはならない。本の貸出冊数の増加や書庫の充実(4F)は大きな成果である。ただ図書の選定委員や選定基準等明確化がほしい感がある。</li> <li>・県立図書館の分館がなくなり、市立図書館の果たす役割は大きく、引き続きの取り組みを期待したい。視聴覚室の整備、閲覧室の増設なども検討してほしい。</li> </ul>		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	市立図書館
事務事業名	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システム構築導入事業(沖振交)		
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)	
	施策項目	(8)図書館活動の充実	
【事業概要】			
(1)対象	市民		
(2)目的	地元で発行された新聞及び所蔵する古文書等の画像検索システムの構築を行なうことで、情報検索がスムーズになり、市民サービスの向上に繋がる。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	1952年(昭和27年)～2011年(平成23年)の間に発行された地元新聞、30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成、登録による検索システムの構築		
(4)成果目標	1952年(昭和27年)～2011年(平成23年)の間に発行された地元新聞、30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成、登録による検索システムの構築		
(5)根拠法令等			
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	9,193 千円	23年度実績
			決算額
			千円
1952年(昭和27年)～2011年(平成23年)の間に発行された地元新聞、30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成、登録による検索システムの構築		予算なし	
		25年度目標	予算額
			千円
		予算なし	
区分	評価の説明		
【内部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度事業の検索システム構築・導入事業は計画通りに完了した。</li> <li>・今後は、新たな事業としてプリントアウトの整備と定期的に資料を追加していくほか、将来的には2紙創刊以前の地元紙のデータの追加や他資料(古文書)などのデータの拡充、沖縄大学の調査による古老たちから収録した昔話の音声データなども追加していきたい。</li> </ul>		
【外部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館を生涯学習の場として地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システムの構築・導入は価値あるものである。その作成において、資料の内容や特性を考え、適切な選択や収集等大変なご苦勞があったと考えられる。今後は、学校図書館と連携したりして、市民が効果的に活用する資料活用能力の育成も大事である。</li> <li>・他に類似の事業があるが、連携して、貴重な資料の電子化に向けて大きな前進があったと評価できる。便利な検索システム、データの公開を期待している。</li> </ul>		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	文化財課		
事務事業名	文化財保護啓発費				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用、(2)埋蔵文化財の保存と活用			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	本市に所在する文化・自然を後世に残す。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市民を対象に自然観察会、戦跡めぐり、文化財巡りなどを実施し、文化財保護と自然環境の保全への意識を高める。また、近年、開発行為が増加しているため、定期的にパトロールを実施し、周辺の開発行為と調整を進め文化財の保護、自然環境の保全を図る。				
(4)成果目標	本市に所在する文化・自然を残す。				
(5)根拠法令等	文化財保護法、沖縄県文化財保護条例、石垣市文化財保護条例				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	1683 千円	23年度実績	決算額	2628 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会、戦跡巡り、文化財巡りを実施。</li> <li>・台風被害にあった宮良殿内の石垣の修繕を実施。</li> <li>・国指定天然記念物平久保のヤエヤマシダンの薬剤散布を実施。</li> <li>・市指定史跡アダドゥナーのフェンス修繕を実施。</li> <li>・定期的にパトロールを実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会、戦跡巡り、文化財巡りを実施。</li> <li>・県指定史跡アラスク村遺跡近接地土地購入。</li> <li>・国指定史跡川平火番盛境界及び地積確定。</li> <li>・定期的にパトロールを実施。</li> </ul>			
		25年度目標		予算額	989 千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財巡り等を実施し、文化・自然の保護と啓蒙を図る。</li> <li>・近年、開発行為が増加しており、定期的なパトロールを実施し、文化財の保護を図る。</li> </ul>			
区分	評価の説明				
【内部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を対象とする自然観察会、戦跡巡り、文化財巡りは多くの参加があり、文化財保護、自然環境の保全への意識の高揚を図ることができた。また、定期的なパトロールを実施したことによって、文化財、特に天然記念物の保護につながった。</li> </ul>				
【外部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保存整備と普及活動は大変重要なことである。三つの事業(自然観察会、戦跡巡り、文化財巡り)を柱に活動を展開しているが、参加する市民も多く、文化活動をすることにより、文化財への啓発活動を図り継続を望む。ただ開発が増加しているため、文化財の保護にも留意してほしい。</li> <li>・石垣島の開発も進んでおり、保護と啓発の事業は重要で、まだまだ未整備、放置状態である。失われる前に保護をきちんとするためにも、予算も確保して、しっかり取り組んでほしい。</li> </ul>				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	文化財課		
事務事業名	史跡土地買上事業				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用			
【事業概要】					
(1)対象	地権者、市民				
(2)目的	史跡 先島諸島火番盛(川平火番盛)の保存活用を図るため、指定地(民有地)の土地買上げを実施する。国庫補助事業				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	①不動産鑑定評価 ②土地買上げ ③所有権移転登記				
(4)成果目標	指定地(民有地4筆)を買上げ、公有化する。				
(5)根拠法令等	文化財保護法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律及び同法施行令、文化庁文化財補助金交付規則				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	4369 千円	23年度実績	決算額	0 千円
①不動産鑑定評価 (有)国土評価センターへ委託し、実施した。 ②土地買上げ 買上げ予定地4筆(字川平仲間原255番2、255番12、255番19、255番20)の地権者と交渉を行い、255番19を除く3筆の土地を買上げた。 ③所有権移転登記 買上げた土地の所有権移転登記を行い、土地を公有化した。	実施なし		25年度目標	予算額	0 千円
	実施なし				
区分	評価の説明				
【内部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財指定地(民有地)4筆の土地買上げを予定し、そのうちの3筆を買上げ公有化した。しかし、1筆の地権者と土地評価額で交渉がまとまらず、買上げを実施することができなかった。平成19年の文化財指定の際、地権者との間で土地買上げを条件に指定同意を得ているところであり、今後も公有化へ向け、地権者と交渉を重ねる必要がある。</li> </ul>				
【外部評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財は重要であるがゆえ、特異性も生ずる。文化財指定地4筆の内、1筆がまだまとまらないということなので、公有化に向け、調整を円滑に、文化財の保存・保護を粘り強く重ねてほしい。</li> <li>結果の評価としては、△であるが、文化財の保護啓発の観点からは重要な事業であり、各所の保護すべき土地の取得を継続して欲しい。</li> </ul>				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	文化財課		
事務事業名	文化財ガイドマップ作成事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用			
【事業概要】					
(1)対象	市民、観光客				
(2)目的	市民をはじめ、国内外から訪れる観光客等に、本市に所在する国・県・市指定文化財を紹介するためのガイドマップを日本語版・中国語版・英語版で作成する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	指定文化財説明文を作成し、英語及び中国語へ翻訳する。ガイドマップレイアウト及び印刷は印刷業者へ委託する。				
(4)成果目標	「石垣市文化財ガイドマップ」作成 ①日本語版20,000枚 ②中国語版10,000枚 ③英語版6,000枚 計36,000枚				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	609 千円	23年度実績	決算額	0 千円
「石垣市文化財ガイドマップ」作成 ①日本語版 20,000枚 ②中国語版 10,000枚 ③英語版 6,000枚 計36,000枚			実施なし		
			25年度目標	予算額	0 千円
			実施なし		
【点検評価】					
評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評価の説明				
【内部評価】					
<p>・石垣市所在の指定文化財については、従来、観光ガイドブックやマップ等に代表的な文化財(旧宮良殿内や権現堂等)が紹介されるのみで、文化財を中心にしたガイドマップはこれまで作成されることがなかった。この事業で市民をはじめ、国内外から訪れる観光客等に本市に所在する貴重な文化財を広く紹介することにより、文化財の保護活用を図ることができた。</p>					
【外部評価】					
<p>・南ぬ島石垣空港開港に伴い、本市を訪れる観光客も増えた。文化財は先人たちが築いた貴重な市民共有の財産である。文化財を中心にしたガイドマップの作成は高く評価できる。又、本当に素晴らしいものである。ガイドマップを活用することにより、本市を知り、又、学校等では地域を理解し、地域を愛する心等文化の向上に果たす役割は大きい。</p> <p>・文化財の保護啓発、市民、来島者への周知という面でも、予算規模の割には良い事業であったと思う。増刷、内容の充実など、引き続き継続しても良い事業と思われる。</p>					



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	市史編集課
事務事業名	旧大浜町史(仮称)編集事業		
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]	
	施策項目	(10)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供	
【事業概要】			
(1)対象	市民		
(2)目的	平成26年に旧石垣市と旧大浜町の合併50年の節目を迎えるにあたり、旧大浜町の刊行資料や関係者等の証言をもとに、『旧大浜町史(仮称)』の刊行を目指す。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	旧大浜町関係者からの聞き取り調査や大浜町議会議事録、大浜町勢要覧・新聞記事等関連資料の収集を行ない、『旧大浜町史(仮称)』の発刊につなげる。		
(4)成果目標	平成27年度に『旧大浜町史(仮称)』を刊行する。		
(5)根拠法令等	石垣市史編集委員会規則		
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	1,140 千円	23年度実績
			決算額
			0 千円
計 画	実 績		
1 関係資料等の収集	1 新聞資料等の資料収集		
	2 収集した資料等のデジタル化 (1)戦前・戦後の新聞記事の収集と原稿作成用にデジタル化(A4Word文書165頁) (2)大浜町合併関係資料を原稿作成用にデジタル化(A4PDF文書104頁)		
2 市史編集委員会(旧大浜町史小委員会)開催	2 小委員会を3回開催		
	24年度新規事業のため、23年度の実績なし。		
	25年度目標	予算額	684 千円
	旧大浜町関係者からの聞き取り調査、目次構成の検討、原稿作成依頼、関係資料の収集・整理		
区分	評 価 の 説 明		
【内部評価】			
<p>・関係資料等の収集として、戦前・戦後の新聞記事から旧大浜町関係記事を抽出、合併関係資料も刊行の際の入稿データとして活用出来るようデジタル化を行った。本年度以降は、旧大浜町関係者からの聞き取り調査を中心に目次構成の検討、原稿作成、関係資料等の収集・整理を行い、平成27年度の刊行に向けて進めて行く。</p>			
【外部評価】			
<p>・平成26年に旧石垣市と旧大浜町の合併50年の節目を迎えることで「旧大浜町史(仮称)」が刊行されることは、誠に意義深い。閲覧資料のデジタル化も順調に進み、次は旧大浜町関係者からの聞き取り調査を中心に目次構成されるが、出向いて聞き取り調査をする方策と共に、まだまだ旧大浜町出身者は残っているため、情報提供という方法で広く一般に情報を求めることも考えられる。単に分厚い町史ではなく、誰もが手にとって読める様な工夫もほしいところである。</p> <p>・大量の重要な資料の収集、電子化(デジタル化)の事業で高く評価できる。特に聞き取り調査は、手間のかかる仕事であるが今が重要なので引き続きの取り組みを期待したい。</p>			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	市史編集課		
事務事業名	いしがきの原風景写真等デジタル化事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(10)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市史編集事業により収集された約75,000点に上る写真・ネガフィルム等のデジタル化を一括交付金を活用し行う。(事業期間:5年、総事業費用:36,540千円)				
(4)成果目標	平成28年度末までに全画像デジタル化を完了させ、データベースを作成。「石垣市史アーカイブ(仮称)」を立上げて公開し、一般市民の利用に供する。				
(5)根拠法令等	石垣市史編集委員会規則、沖縄振興特別推進交付金交付要綱				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	7,140 千円	23年度実績	決算額	0 千円
計 画	実 績		24年度新規事業のため、23年度の実績なし。		
写真資料等15,000点デジタル化	写真資料等15,469点デジタル化		25年度目標		
			予算額	7,308 千円	
			写真資料等15,000点デジタル化		
区分	評 価 の 説 明				
【内部評価】					
・目標としていた、写真資料等15,000点のデジタル化を実施出来た。					
【外部評価】					
<p>・いしがきの原風景を写真資料等で残すことは、石垣市のかげがえのない自然や文化や歴史を後世に引き継ぐということにつながる。目標の写真資料等のデジタル化は計画通り実施された。今後は、一般市民への利用法を考え、ふるさとはどうあるべきか等々を視覚的にとらえ、地域づくりへの貢献にもつながる。</p> <p>・大量の貴重な映像資料の収集、記録の電子化(デジタル化)は、市民の期待も高く、急がれる事業である。WEB公開を期待したい。</p>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	八重山博物館		
事務事業名	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)			
	施策項目	(11) 博物館事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	八重山博物館所蔵資料の中から、状態の悪い資料を修復する。修復後は市民の調査・研究に供するよう活用を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○修復を様子する資料の選定 ○修復委託 ○データベース化				
(4)成果目標	沖縄振興特別推進交付金を活用して、博物館所蔵資料の中から状態の悪い資料の修復を行う。修復後は、広く調査研究等に供する。				
(5)根拠法令等	博物館法 石垣市立八重山博物館条例 石垣市立八重山博物館条例施行規則				
【事業実績・目標】					
24年度実績	決算額	8,328 千円	23年度実績	決算額	0 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>古文書修復250点</li> <li>軸物修復2点</li> <li>博物館所蔵資料データベース化 11,000点</li> </ul>					
		25年度目標	予算額	24,309 千円	
区分	評価の説明				
<b>【内部評価】</b> ・これまで八重山博物館に寄贈・寄託された資料の中から、劣化している古文書や沖縄県指定文化財の絵画資料を修復することができた。今後の調査・研究に大いに役立つものである。					
<b>【外部評価】</b> ・博物館には、考古学資料・歴史的遺物等が整理・保管されている。しかし、年月と共に状況も悪くなる。地元では修復できず専門家に委ねるものも多々ある。資料もデータベース化され調査研究に役立たせたい。 ・地域の保管、保存された貴重な文化財、資料の修復、データベース化は地道ながら重要な仕事であり、今回は新たな取り組みもあり高く評価できる。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	八重山博物館		
事務事業名		喜舎場家所有資料等収集事業			
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展			
	施策項目	(11) 博物館事業の充実			
<b>【事業概要】</b>					
(1)対象	市民				
(2)目的	石垣市名誉市民喜舎場永珣氏が収集した古文書を中心とする資料の収集し博物館資料を充実させる。また、今後の調査研究に役立てる。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○資料収集 ○資料整理				
(4)成果目標	喜舎場永珣氏が収集した資料群を受け入れ、今後の博物館事業に活用していきたい。また、島内外の調査研究資料としての活用も見込まれる。				
(5)根拠法令等	博物館法 石垣市立八重山博物館条例 石垣市立八重山博物館条例施行規則				
<b>【事業実績・目標】</b>					
24年度実績	決算額	1,018 千円	23年度実績	決算額	0 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書類 148点</li> <li>・調査ノート類 234点</li> <li>・抜き刷り、スクラップ等 56点</li> <li>・証書、辞令等 164点</li> <li>・写真 426点</li> <li>・琉球切手 70点</li> <li>・新聞資料108点</li> <li>・レコード、テープ37点</li> <li>・書籍類 1,673点</li> <li>・その他歴史資料11点</li> </ul> 合計2,927点		25年度目標		予算額	0 千円
区分	評 価 の 説 明				
<b>【内部評価】</b>					
・郷土史研究家で、石垣市名誉市民である喜舎場永珣氏が収集した古文書類を中心に戦前に地元で発行された新聞等の資料群の寄贈を受けたことにより、今後の研究に大きく寄与するものである。劣化の激しい資料については、今後とも沖縄振興特別推進交付金を活用して修復に取り組む予定である。					
<b>【外部評価】</b>					
・郷土史研究家の喜舎場永珣先生が収録なさった資料をいただいたことは、本市においても郷土を深く知る上においても大変ありがたいことである。資料の整理、保存、効果的な活用はこれからだが、市民がふるさと学習に役立てる実効性のある資料づくりに努めたい。 ・これまで公開されてなかった喜舎場家所有資料が寄贈されたことは重要で、そうそうに整理、修復などを行い、長く保存することが必要で、高く評価できる事業である。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

<b>【基本情報】</b>					
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	総務課		
事務事業名	児童・生徒選手派遣費補助事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展、7 健康な体をつくり市民が輝くスポーツ推進			
	施策項目	6-(6)文化芸術活動の奨励及び推進、7-(3)スポーツクラブ等の育成と活動の支援			
<b>【事業概要】</b>					
(1)対象	石垣市内の市立小中学校、私立学校、県立学校に在籍する児童生徒				
(2)目的	派遣費補助により保護者の負担軽減を図り、子ども達を派遣へ行かせやすい環境作りを目指す。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	派遣先により補助額を決定する(児童生徒同一補助額):沖縄本島5,000円、宮古島市3,000円、県外10,000円を定額補助				
(4)成果目標	多くの子ども達が派遣に行く機会を得ること。				
(5)根拠法令等	沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱				
<b>【事業実績・目標】</b>					
24年度実績	決算額	6,000 千円	23年度実績	決算額	3,408 千円
県内派遣…994名 県外派遣…103名 補助総額:6,000,000円	補助額…4,970,000円 補助額…1,030,000円		(児童) 県内…50名 県外…31名 (生徒) 県内…638名 県外…65名		
			25年度目標	予算額	12,950 千円
			県内派遣…2,000名	県外派遣…295名	
区分	評価の説明				
<b>【内部評価】</b>					
<p>・平成24年度から一括交付金を活用して平成23年度の2倍の予算確保と、補助対象の拡大を図った。これまでは、学校教育活動に関わる児童生徒のみを補助対象としてきたが、平成24年度からはスポーツ少年団、社会教育団体、学校の部活動及び高校生の派遣に対しても補助金を交付した。しかし、当該事業の内諾が年度途中であったため、当初計画していた補助人数よりも少ない実績となり、予算の執行率が62%と低くなった。</p>					
<b>【外部評価】</b>					
<p>・子どもたちが自分の持っている力を精いっぱい発揮することはすごくたのしい。しかし、離島であるがゆえの派遣費もままならない。派遣費補助は、保護者の負担軽減となり、子どもたちにとっても学校においても地域においても活気をもたらす。年度途中の事業で執行率が低いが、今後の活用率は高くなる可能性を持ち、ただスポーツ系のみにかたよりがちなので文化系にも広げて欲しい。</p> <p>・一括交付金の活用ということで、前年から倍増ということであるが、取り組みの遅れで、当初計画の半分であったことは残念。離島から文化スポーツの分野の活動で、児童生徒を派遣することは、保護者にとって大きな負担となっており、一括交付金の活用により、負担軽減を目指して欲しい。</p>					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学務課
事務事業名	災害に備えた学校環境整備事業(沖振興)		
施策体系	主要施策	8 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)	
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実	
【事業概要】			
(1)対象	海岸部に近接した低地の小学校児童、幼稚園園児、職員		
(2)目的	・災害に備え、海岸部に近接した低地にある小学校、幼稚園の児童、園児、職員用のライフジャケットを購入し、併せて取り出しが容易に出来るよう全学級に収納整理棚を設置する。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	・対象学校を決定し対象人数を把握し配付数を確定させる。		
(4)成果目標	・災害時に被災のリスクの軽減。		
(5)根拠法令等			
【事業実績・目標】			
24年度実績	決算額	5,886 千円	23年度実績
・小学校1,261着 (真喜良小、新川小、大浜小、明石小、伊野田小、野底小) ・幼稚園203着 (まきら幼、あらかわ幼、おおはま幼、あかし幼、いのだ幼、のそこ幼) ・中学校49着 (伊原間中) ・八島小学校及びあまかわ幼稚園避難通路整備	25年度目標	予算額	8,653 千円
	・ライフジャケット配付校への収納棚設置		
区分	評 価 の 説 明		
【成果・課題等】	・配付対象校小学校3校及び幼稚園3園について、計画と通りに配付することができた。さらに、海岸部に近接した低地にある学校について、小学校3校及び幼稚園3園、中学校1校について、追加配備をすることができ目的は十分達成されている。  ・ライフジャケットを装着した避難訓練等も行われている。		
【外部評価】	・東日本大震災後の防災体制や避難対策は大きな改良を余儀なくされた。石垣島は明和の大津波の教訓を生かす方向に動くことが大事。災害に備えた学校環境整備として沿岸部や低地の集落の学校にライフジャケットを配付したり避難通路を整備したことは高く評価できる。今後は活用する方向へと対策(ライフジャケットの装着の訓練等)を講じ、実情にあった自主防災の取り組みに力を入れてほしい。 ・ライフジャケットの配付が計画通り進めただけでなく、避難訓練も行われているようで高く評価できる。収納棚の設置と安全な場所へ早めに非難できるような訓練もお願いしたい。		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成25年度(平成24年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名	平真小学校水泳プール新築事業					
施策体系	主要施策	8 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)				
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業概要】						
(1)対象	平真小学校児童及びへいしん幼稚園園児					
(2)目的	当校には、水泳プールが未整備で、市営プールを利用している状況にある。その為、水泳指導を行うのに時間的に制約され、学習指導上支障があるため、水泳プール整備により泳力向上を図り、教育環境整備を充実させる。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校施設環境改善交付金(7.5/10)を利用し整備を行う。					
(4)成果目標	水泳プールを整備することにより泳力の向上を図る。					
(5)根拠法令等	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
【事業実績・目標】						
24年度実績	決算額	53,404 千円	23年度実績	決算額	80,005 千円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年7月完成</li> <li>二学期から授業で使用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度建設工事着手</li> </ul>		25年度目標	予算額	千円
区分	評価の説明					
<b>【内部評価】</b> ・整備内容は、水面積300㎡で、長さ25mの5コースを設置、水深の浅い低学年用プールと高学年用と水域を区画して安全性を考慮した配置やバリアフリー化を図るため、スロープや多目的便所の設置など他にも機能性・安全性に優れた施設整備ができた。また、夏休みには、プール開放により、地域や社会教育面においても利用され市民の健康保持、増進にも寄与している。						
<b>【外部評価】</b> ・石垣市の小学校で1番児童数が多いのは平真小学校である。昨年の2学期より授業で使用されていることで本当に喜ばしい限りであります。安全性や機能性にも優れ、児童の泳力の向上や健康的な活用が期待される。ただ、活用面や管理面において今後、予期せぬことも考えられるので学校の意見にも十分耳を傾けながら連携強化に努めてほしい。 ・安全に水泳を楽しめるプールは、学校教育の上でも必要な設備であり、今年度整備でき、早速授業にも使用されて、地域にも開放されていることは高く評価できる。						

## 外部評価委員による総評

### ○ 金城綾子

「一人一人が輝いて学校が輝く」と、38年間の教職を定年退職し、現在は婦人会活動に全力投球している。「一人一人が輝いて地域が輝く」と、指標する文言も「学校」から「地域」に変わった。私自身のものの見方や考え方も、学校・地域が一体となり、人が生涯に渡って学びつづける教育環境づくりの重要性を改めて認識するようになった。

国際化、情報化、少子高齢化等社会情勢の変化と共に、人と人とのつながりの希薄化など、暮らしの中にも様々な変化が生じている。東日本大震災を踏まえた安全・安心対策の見直しなど、多くの課題にも直面している今日である。

この度、外部評価委員の委嘱を受け、おそれ多くも、石垣市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになった。学校教育に携わっていた時、外部評価委員を依頼したことはあったが、今度は自身が外部評価委員として外部からの異なる視点から提出された事業を点検・評価するのである。

外部評価担当(係)から、丁寧な依頼と「事務事業点検評価シート」をいただいた。資料もキッチンと整えられ、雑駁な知識を有する私にはありがたく、現状把握や課題認識を深めることに役立った。

ヒヤリングに際し、各担当課職員の方は自分たちの仕事に対する自信を持って、堂々と且つ分かり易く説明してくれた。私共評価委員の質問にも間を置かず適切な表現で応え、気持ち良く事を進めることができた。

内容面に関し、「開かれた教育委員会」「特色ある教育委員会」を軸に事業の展開が図られ、進むべき道が見えてきた。しかし、事業内容に重複するものや似たようなものがあり、調整や連携の必要性を感じた。

事務執行において、新規事業では事業においての方法や解決策を模索する姿が印象的だった。他のどの事業においても一生懸命に取り組み、誰のために、何のためにしているのかひしひしと伝わってきた。ただ、予算面と事業内容との綿密な計画の必要性を感じた。事業の「つなぎ」「つながる」をうまく接続して欲しいと思った。

学校教育と社会教育の融合において、とりわけ教育委員会の事業は、人と人との関わりの中で進められることが多く、人と人が効率よく諸々の事業に関わってこそ、その成果が見出せる。教育委員会が全般に渡ってその土壌づくりの指揮をとって、教育環境の充実にますます努めていただきたい。

総務課、学務課、学校指導課、図書館、いきいき学び課、文化財課、市史編集課、博物館、給食センターの皆様方には、とりとめのない質問もあったらうかと思われませんが、それぞれの分野での責任ある堅実な仕事ぶりには驚嘆の連続だった。今後とも個々の能力と課の組織力を活かしながら、石垣市の教育委員会としての機能を果たしてください。



学校は未来に生きる子どもたちの可能性を伸ばし、子どもたちの命を守るところだと、学校教育に携わってきたが、教育委員会の各分野の皆様方に生まれ見守られてきたことに改めて心より感謝申し上げます。

○ 宮地 竹史

これまで10年以上、仕事を通じて石垣市や教育委員会のみなさんにはお世話になってきましたが、この4月に市民になったばかりで、外部評価委員の委託を受けました。これは、教育委員会を知る上で、私にとっては、大変良い機会となりました。

小中学校などの教育行政を担当する行政機関と思っていましたが、実際にその担当分野の広さに驚かされました。学校教育分野だけでも、幼稚園、小中学校や教育センター、給食センターなどもあり、子供たちの置かれている家庭、地域、環境の問題、学力、健康、日々の生活指導とその活動は実に幅広いものでした。

また、市立の図書館、博物館などの文化施設もあります。石垣市をはじめとする八重山文化の保存、継承とともに、市民への利用サービス、生涯教育活動など、これまた多岐にわたって多様な業務を熟されている。

大変な仕事ではあるが、一方これはやり甲斐のある仕事だともいえるもので、これらの仕事に携わっている方々を羨ましくも思いました。

今回は、外部評価の対象として、28の事務事業のご説明を頂きましたが、内部評価とは異なる評価もさせて頂きました。△を付けた理由を聞くと、達成度が悪いからとかいう説明がありましたが、少ない人員と予算で、市民の理解も得ながら事業を進めるのは大変なことで、そのような事業には、この間の努力と今後の活動への期待を込めて、○としました。また、○であっても、時代にあった工夫もされて新たな展開を期待したいということで△の評価もさせて頂きました。また、総合的な評価として、冠鷲プロジェクトが進んでいますが、短期的に学力を上げる努力だけでなく、子供たちが勉強したくなる環境作りが重要です。島を訪れる多くの研究者が、島は学習教材の宝庫だと語っています。石垣島は、興味や関心を持たざるを得なくなる自然や文化が豊かで、これらの活用が重要です。

スポーツや歌謡、舞踊などに加えて、海や野山の生き物、植物に触れて、自然科学にも目を向けさせるようにして欲しいものです。夜、偶然に星空を眺めて、不思議な宇宙に興味をもって天文学者になった方が多いように、自然への興味は、勉学心を引き出してくれます。フィールドに出て学ぶことができるようなシステムづくりを期待します。

また、八重山の伝統文化を学ぶことは、自分を知ることにも通ずるもので、貴重な文化遺産を市民に紹介し、気軽に見て頂けるようにすることも重要です。博物館の移転・新築構想もあるようで、これは早々に実現して欲しいものです。

さらに、市民や観光客が気軽に市内の歴史遺産や自然観察などができるようなインフラ整備が急がれます。道路の整備も必要ですが、さらに道路案内板、説明板なども充実して頂きた



(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第2条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、総務課長、学務課長、学校指導課長、いきいき学び課長、文化課長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第3条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第4条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第5条 教育事務点検評価は、第3条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第6条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

○平成25年度 石垣市教育委員会組織機構図 ※( )は臨任、嘱託、賃金を除くH25. 4. 1現在の市費職員数



平成 25 年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(平成 24 年度事業対象)

---

発行 平成 25 年 11 月  
石垣市教育委員会 教育部総務課  
〒907-0012 石垣市美崎町 1 6 - 6  
TEL 0980 (87) 5077 FAX 0980 (82) 0294

---